

札幌市住まいの協議会 第1回民間住宅部会 質疑等に対する回答

1. 老年人口におけるサ高住の供給戸数について（政令市比較）

回答：高齢化率は政令市のなかで10番目と平均的な割合となっているが、老年人口千人当たりのサ高住の戸数は、政令市のなかで最も多くなっている。

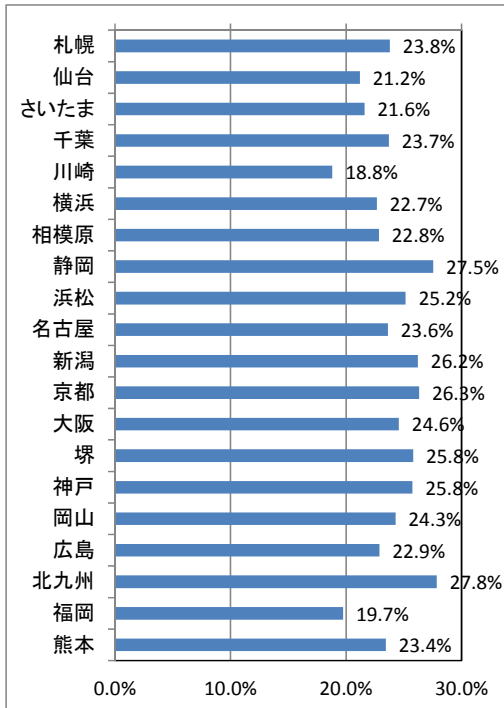


図1 高齢化率

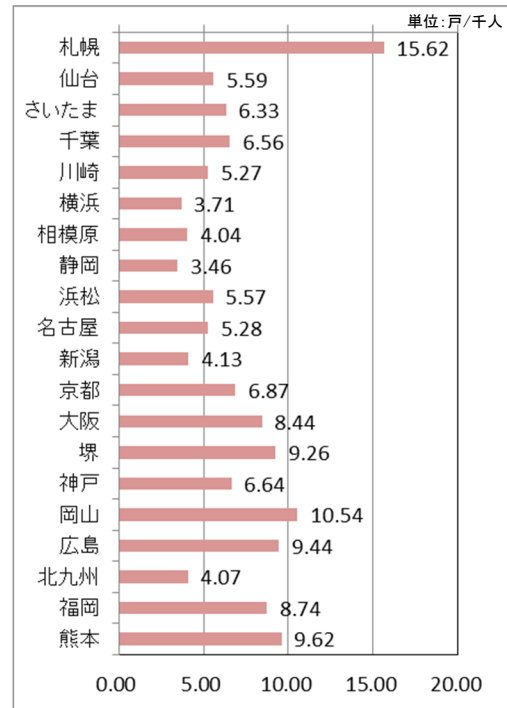


図2 老年人口千人当たりのサ高住の戸数

出典：住民基本台帳(H27年1月1日)、札幌市資料(H27年3月31日)

2. 札幌市の人口動向の特徴について

① 転入超過数（政令市比較 ※H27年度における転入超過数の上位5都市・下位5都市）

回答：近年の転入超過数は、政令市のなかで上位となっている（人口規模は上位から4番目）。

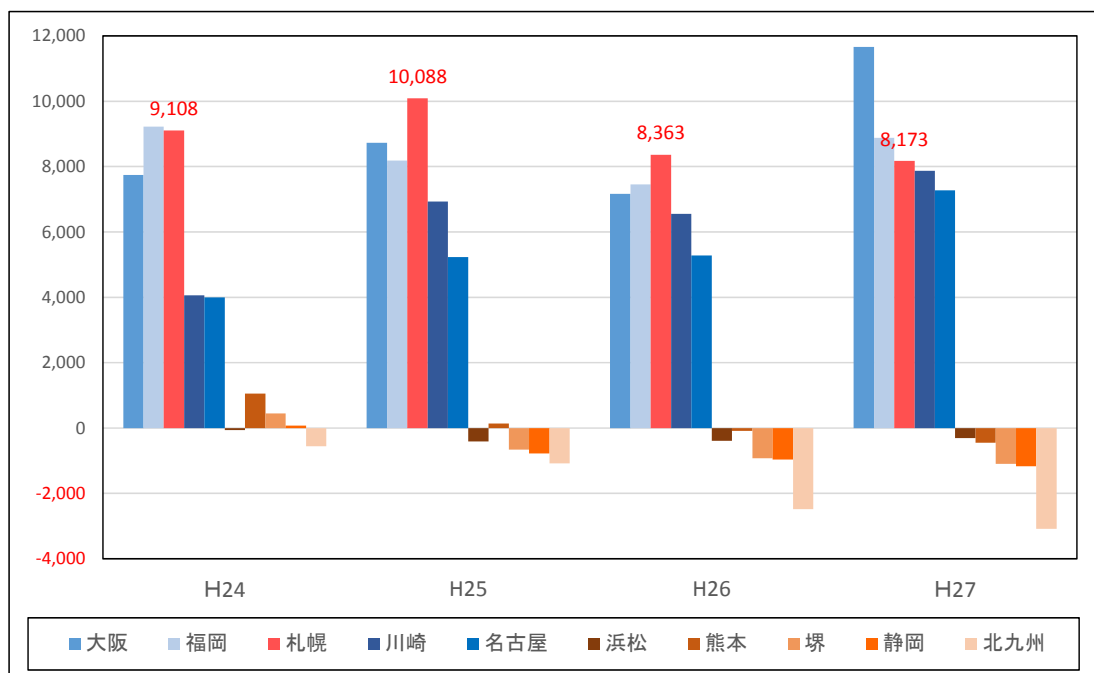


図3 転入超過数の推移

出典：各年住民基本台帳人口移動報告

②道内間での移動における転入超過数（道内都市比較 ※H27年の人口又は転入超過が多い都市を抽出）

回答:平成27年の道内間での移動における転入超過数及び人口に対する割合を道内都市で比較すると、どちらも道内市町村で最も多くなっている。

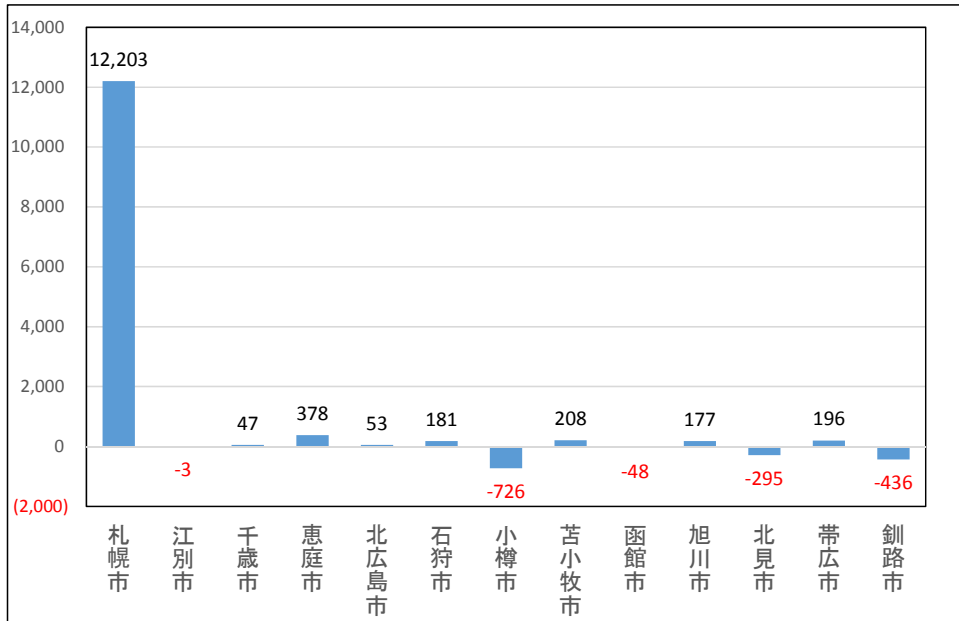


図4 転入超過数(H27年)

出典: H27年住民基本台帳人口移動報告

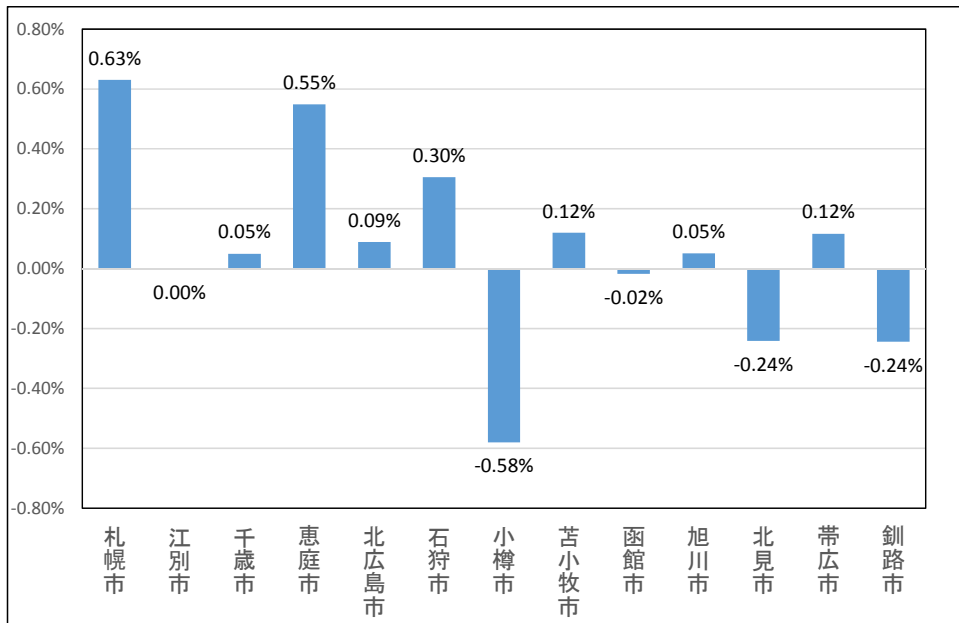


図5 転入超過数の人口に対する割合(H27年)

出典: H27年住民基本台帳人口移動報告

③都道府県人口に対する人口割合（シェア率）（政令市比較）

回答：各政令市の都道府県人口に対する人口割合（シェア率）をみると、札幌市は比較的高い割合となっている。また、平成 22 年と平成 42 年のシェア率の比較では、札幌市は 4.3 ポイント増加しており、政令市中で最もシェア率が増えている。

シェア率を年齢（3 区分）別にみると、どの区分も政令市の中で比較的高い割合となっており、平成 22 年と平成 42 年のシェア率を比較した際には、特に老年人口についてのポイントが増加している。

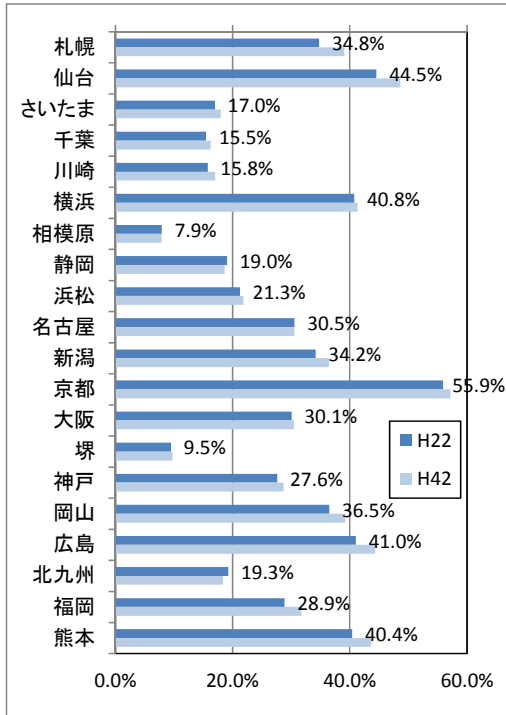


図 6 都道府県人口に対する人口割合【全体】(H22、H42)

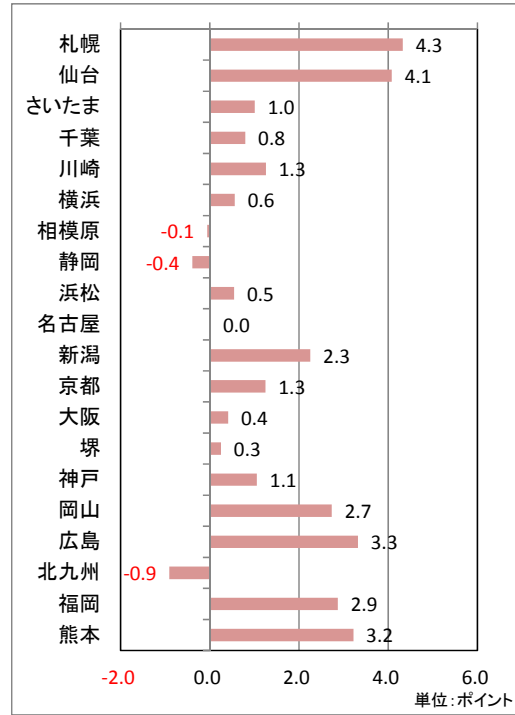


図 7 都道府県人口に対する人口割合の変化【全体】(H22～H42)

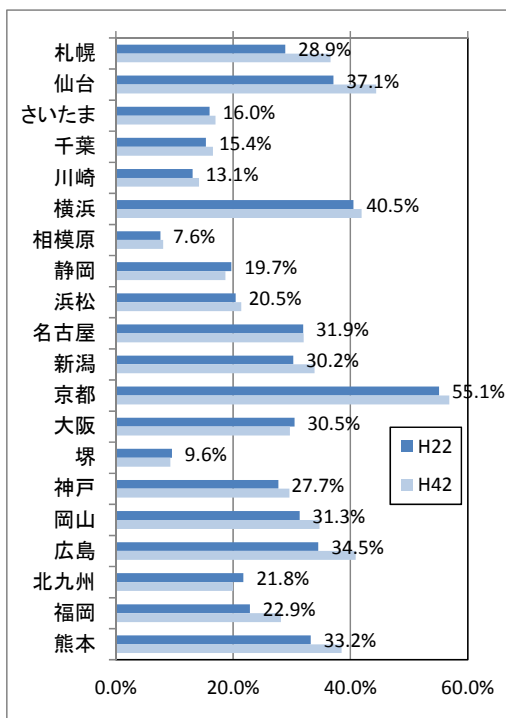


図 8 都道府県人口に対する人口割合【老年】(H22、H42)

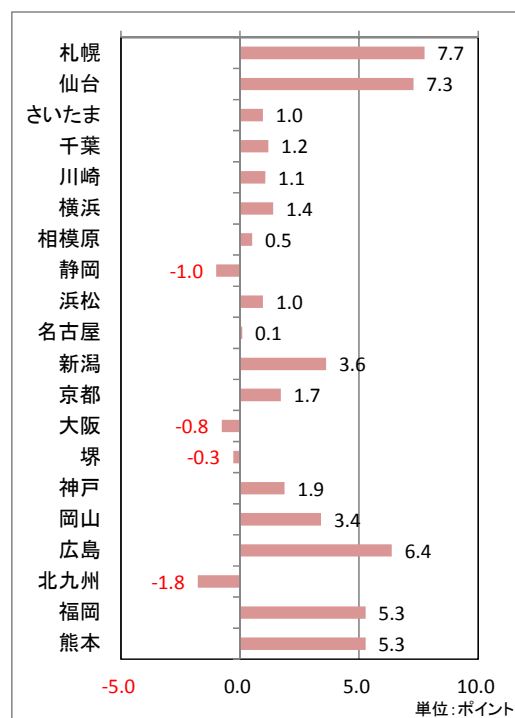


図 9 都道府県人口に対する人口割合の変化【老年】(H22～H42)

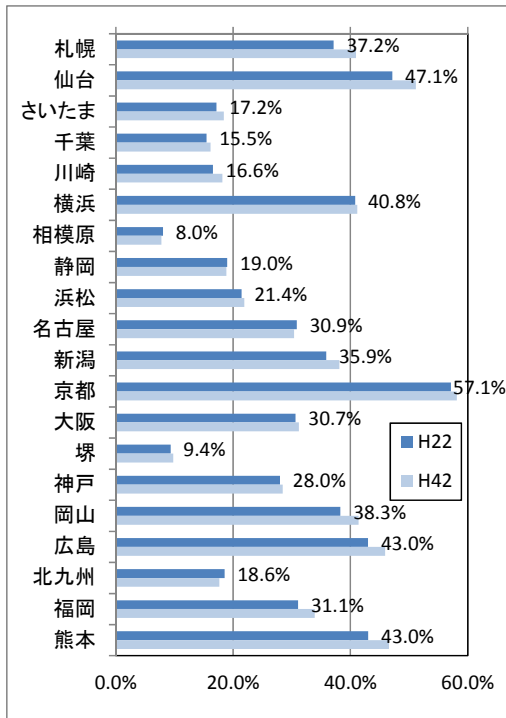


図 10 都道府県人口に対する人口割合【生産年齢】(H22, H42)

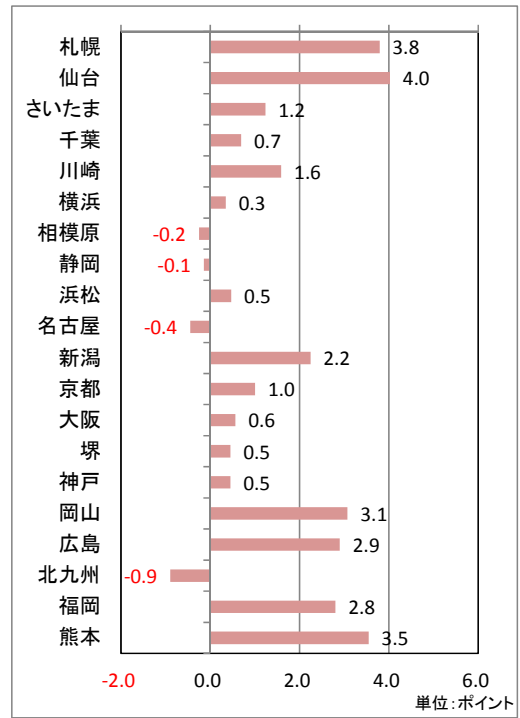


図 11 都道府県人口に対する人口割合の変化【生産年齢】(H22~H42)

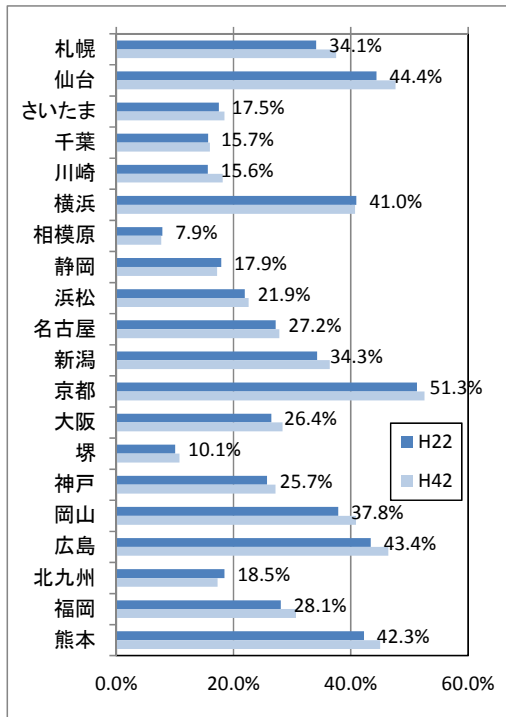


図 12 都道府県人口に対する人口割合【年少】(H22, H42)

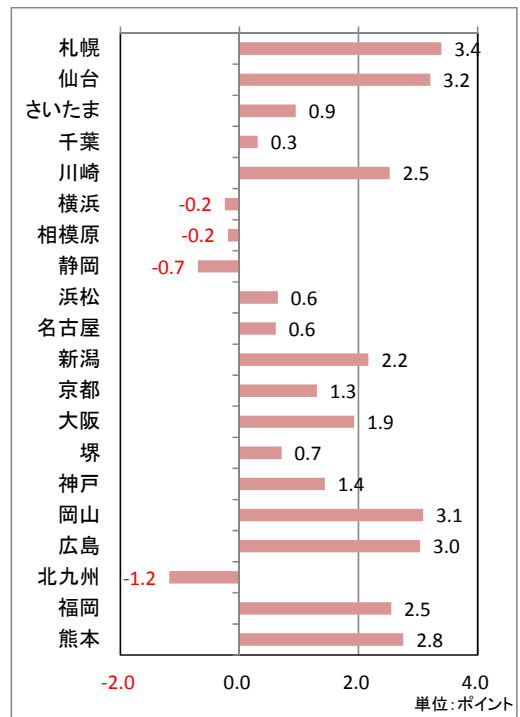


図 13 都道府県人口に対する人口割合の変化【年少】(H22~H42)
出典: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25年3月推計)」

3. あんしん賃貸支援事業の取組状況について

回答: 北海道あんしん賃貸支援事業は、北海道、札幌市が連携してこれまで取り組んできた事業 (※概要図は別紙による)。

これまで、札幌市は入居の円滑化や入居後のサポートなどの居住支援を行う「居住支援団体」を登録する際の事前協議 (居住支援団体の適格性の審査)、住宅を探している市民に対しての情報提供などを実施してきた。

情報提供については、パンフレットの配架や、ホームページによる事業の周知を行っているほか、来庁者があんしん賃貸住宅の情報を窓口で閲覧できるように、紙ベースの情報を準備している。